

## 第9回羅先国際商品展示会に参加して

ERINA 調査研究部主任研究員  
三村光弘

2019年8月12日～16日、北朝鮮の羅先市先鋒地区にある先鋒展示館で第9回羅先国際商品展示会が開催された。前回である第8回は、羅津地区にある羅先国際商品展示場で開催されたが、今回は第1回～7回が開催された場所に戻った形となった。

開幕式は降りしきる雨の中、12日午前10時から行われ、羅先市人民委員会委員長や外国投資企業の代表、中国とロシアの駐清津総領事館の総領事などが参席した。

今回の商品展示会には、北朝鮮から延べ64社（昨年は50社）、中国から延べ30社（昨年は49社）と朝中共同開発共同管理委員会、日本からERINAを含む2社、ドイツから1社の参加となった。昨年は中国企業の場合、東北三省以外の省から来た部品や工場設備、畜産設備などの中間財

や生産財を販売する会社が比較的多かったが、国連安保理決議による国際的制裁が強化されているためか、今年は吉林省の消費財を扱う企業が主体であった。

写真1は、「中朝共同管理委員会」ブースに掲示されていた羅先経済貿易地帯の開発計画である。行政区分としての羅先市の面積が890km<sup>2</sup>であるのに対し、経済貿易地帯に指定されているのは470km<sup>2</sup>である。そのうち、中朝が優先的に開発とする区域が合計30km<sup>2</sup>あるのがわかる。

写真2は、北朝鮮国内から出展している企業に多かった健康食品（サプリメント類）を販売す

写真1 「中朝共同管理委員会」ブースに掲示されていた開発計画



(出所) 筆者撮影

るブースである。主に平壤から来た企業が  
多く、各種の健康食品や漢方薬（北朝鮮  
では「高麗薬」と称する）などを販売して  
いた。

写真3は、隣町である中国の吉林省琿  
春市から来た、衣類を展示販売する企業  
のブースである。以前は江蘇省や浙江省、  
福建省、広東省など華中、華南から来た  
服飾品を扱う企業も多かったが、ここ数年、  
数が減っている。市内の市場や百貨店、  
商店で多種多様な衣料品が販売されて  
いるため、商品展示会にやってくるまで買  
う必然性が薄れてきているのかもしれない。

写真4は、羅先市内にある大型水産加  
工工場である羅先麯香水産加工企業  
所のブースである。展示されているのはカ  
ニヤイカ、タラコといった水産加工品（冷  
凍、冷蔵、塩蔵）が主である。市内の市場  
で新鮮な魚介類がいくらでも購入できるた  
め、このブースで買い物をする地元の人々  
は皆無であった。

写真2 サプリメント類を販売するブース



(出所) 筆者撮影

写真3 衣類を展示即売する中国企業



(出所) 筆者撮影

写真4 羅先市内の企業の出展  
(羅先麯香水産加工企業所)



(出所) 筆者撮影

写真5 羅先市内の企業の出展  
(羅先リオンソン総合加工工場)



(出所) 筆者撮影

写真5は、羅先市先鋒地区にある羅先  
リオンソン総合加工工場の展示である。こ  
の企業はインスタントラーメンやパン、人造肉  
（大豆滓から作られたシート状の食品）な  
ど各種食品を生産している。カップラーメン  
にお湯を注ぐサービスもしており、出展企業  
の人々がラーメンを買いにやってくる  
姿をよく見た。ラーメンの味は中国の「紅焼  
牛肉麺」に似ており、やや油っぽく、辛い。

写真6は、羅先市内にある水彩峰水産  
加工工場が開発した、カニの殻からとれ  
るキトサンを利用した機能性歯磨き粉であ  
る。一種の廃品利用であるが、写真7のよ  
うに、特許権を有するものとなっている。

今回の展示会は、中国を中心とする外  
国企業の参加が減り、平壤および地元の  
国内企業の割合が増えた展示会であ  
った。新しいものを見ようとやってくる市民の  
数は、昨年のように人口の多い羅津地区

写真6 水彩峰水産加工工場が発明し  
たキトサン入り歯磨き粉



(出所) 筆者撮影

写真7 同製品の特許証書



(出所) 筆者撮影

での開催ではなかったため、減少した感じ  
であったが、第7回以前と比べると微減と  
いうところであろうか。

毎年参加して感じるの、消費財の展  
示が以前より減り、中間財、資本財中心の  
展示になる傾向が強くなってきていること  
である。今回は制裁の影響と思われる出展  
企業数の減少が見られたが、今後制裁  
が緩和、解除の方向に進めば、出展しよ  
うとする企業はより増加することが見込ま  
れる。2019年10月には、咸鏡北道の道庁所  
在地である清津市でも同様の展示会が予  
定されていると聞いている。新たな技術や  
製品を導入しようとする熱気は、制裁の中  
でも消えることなく続いていることを感じた。  
このようなパワーを北朝鮮の経済成長にど  
うつなげていくのか。体制にとっても、ピジ  
ネスパーソンにとっても、暗中模索が当分  
の間、続いていきそうだ。